

令和5年度農福連携マルシェ事業業務委託に係る質問への回答について

#	資料	質問	回答
1	仕様書p.1 4(1)①WEB上による商品販売	ECサイトへの出品点数の想定はあるか。 例)事業者数 10程度 × 1事業者あたり10品程度 = 100品程度 など	50事業所×2品=100品程度を想定している。 あくまで想定であるため、より多くの事業所が参加できるよう企画提案をお願いしたい。 (昨年度実績:22事業所、44点)
2	仕様書p.3 4(1)②イ販売日及び販売場所	2回目のイオンモール草津セントラルコートでの出品者事業者数の想定はあるか。	実際に接客等を行う出張販売と商品のみ出品する委託販売を併せて15事業所程度を想定している。 (昨年度実績:出張販売 4 事業所、委託販売 5 事業所)
3	仕様書p.3 4(1)②イ販売日及び販売場所	仕様書4(1)②イ販売日及び販売場所 1回目と2回目は同規模(出品者の数、会場スペースの広さ等)を想定しているか。	広さ等について細かく想定はしていない。 より多くの方が御来場いただけるよう販売場所の選定をお願いしたい。
4	仕様書p.3 4(1)②販売日及び販売場所	イオンモール草津には、2024年1月20日、21日にセントラルコート使用に関する打診は既にあるか。また、使用料についてはイオンモールの正規価格か。	イオンモール草津セントラルコートの利用について、日程の打診は行っている。また、県とイオンとの包括的連携協定に基づき会場を使用するため、会場の使用料については無償である。 なお、会場の詳細な利用内容については今後イオンとの協議の必要があるほか、備品借用・駐車場借用については正規価格での取り扱いとなる。 また、商品等の販売に伴い売上歩合が発生する場合は、当歩合は受託事業者が負担することとする。
5	その他	「びわ湖まん福市場」のロゴは、昨年まで使用されていたロゴ以外を提案してもよいか。	昨年度と異なるロゴでも良い。 なお、マルシェの名称は「びわ湖まん福市場」と定めている。